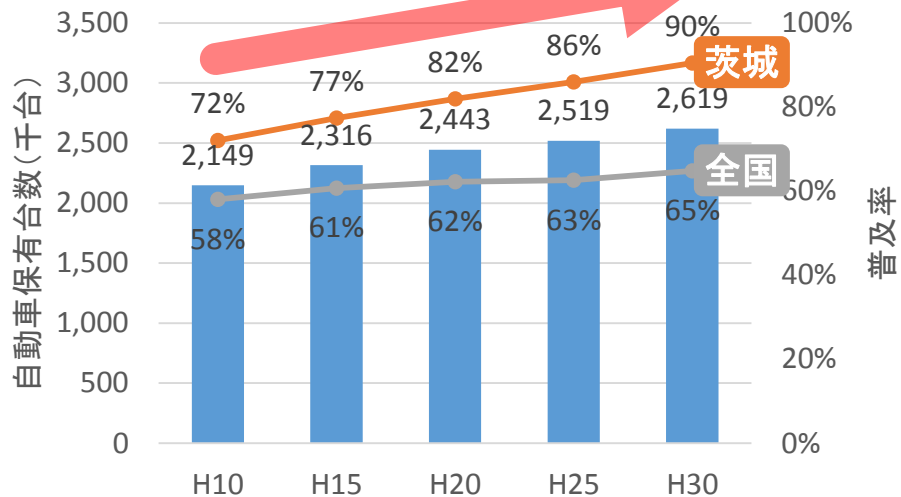


# 茨城県における自転車を取り巻く 現状について

# 1. 茨城県のクルマ・自転車の普及状況

- クルマ保有台数は20年間増加傾向、その普及率は**全国平均を上回る**
- 自転車保有台数は、H20年以前は減少傾向だったが、H25年は増加に転換
- 自転車普及率(=自転車保有台数/人口)は**全国平均を下回る**

＜クルマ保有台数・普及率＞

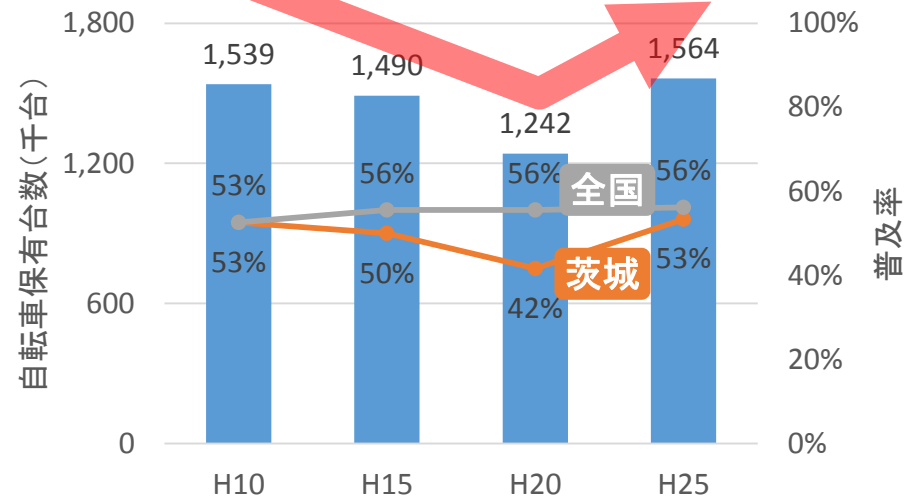


■ 自動車保有台数    ● 普及率(茨城県)    ● 普及率(全国)

(出典:一般財団法人 自動車検査登録情報協会)



＜自転車保有台数・普及率＞



■ 自転車保有台数    ● 普及率(茨城県)    ● 普及率(全国)

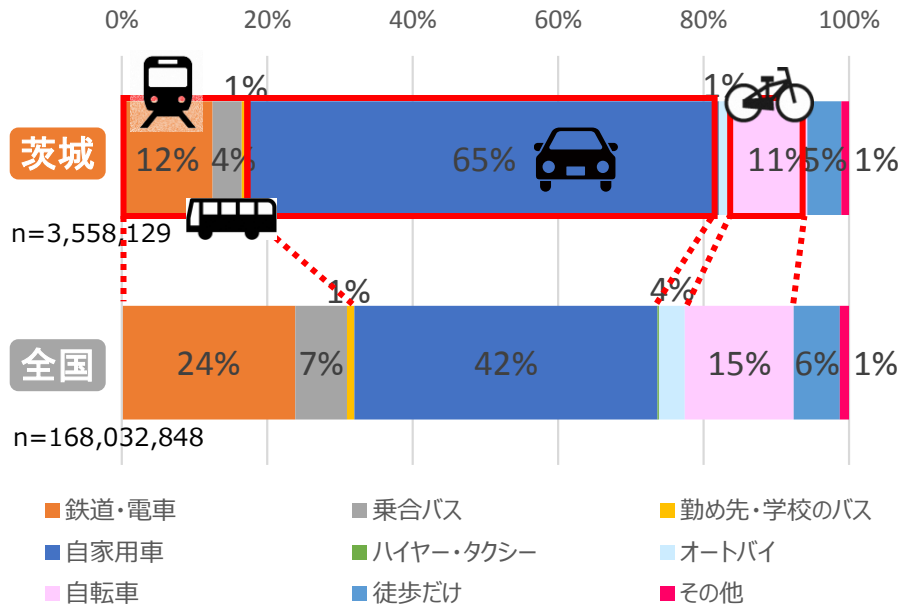
(出典:自転車統計要覧)



# 2-1. 茨城県の交通手段分担率

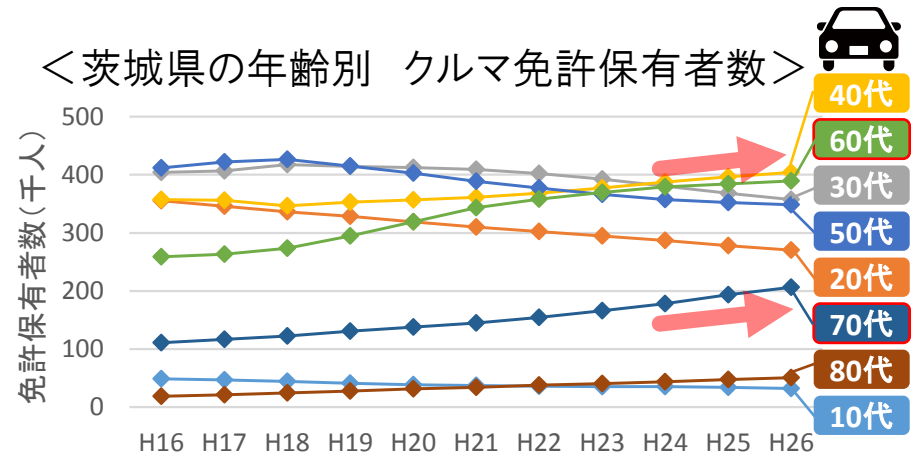
- 交通手段分担率は、クルマが65%、公共交通が17%、自転車が11%  
クルマは**全国平均より高く**、公共交通や自転車は**全国平均より低い**
- クルマ免許保有者は60・70代が年々増加、特に60代は全体の2番目に多い  
一方で、クルマ免許自主返納者数も年々増加

＜全目的の交通手段分担率＞



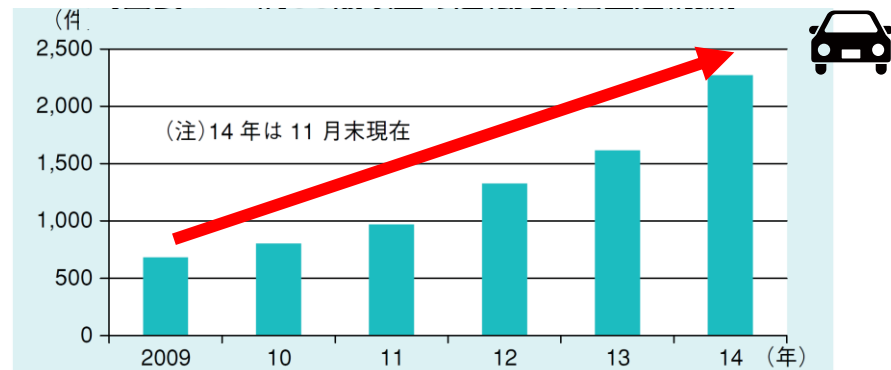
(出典:総務省 平成22年 国勢調査)

＜茨城県の年齢別クルマ免許保有者数＞



(出典:茨城県 交通白書(平成28年版))

＜茨城県の65歳以上のクルマ免許自主返納数＞

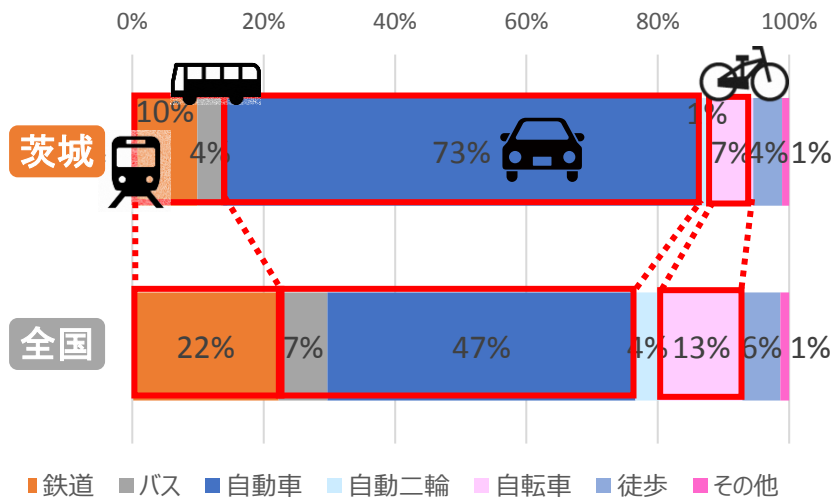


(出典:茨城県内公共交通の現状と展望)

## 2-2. 茨城県の交通手段分担率

- 通勤時の交通手段分担率は、クルマが73%、公共交通が14%、自転車が7%  
クルマは**全国平均より高く**、公共交通や自転車は**全国平均より低い**
- 通学時の交通手段分担率は、公共交通が42%、自転車が37%  
公共交通は**全国平均より低く**、自転車は**全国平均より高い**

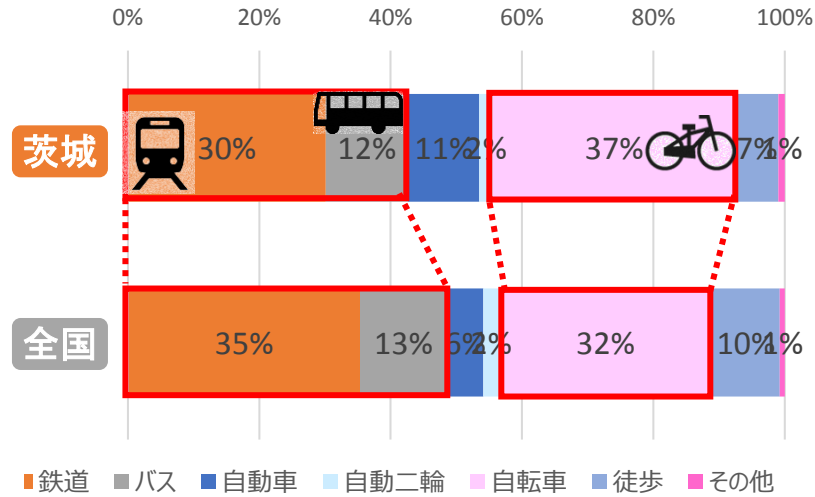
＜通勤時の交通手段分担率＞



(出典:総務省 平成22年 国勢調査)



＜通学時の交通手段分担率＞



(出典:総務省 平成22年 国勢調査)


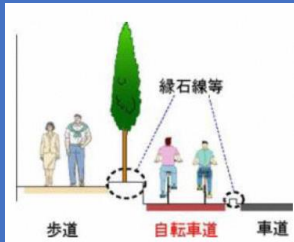
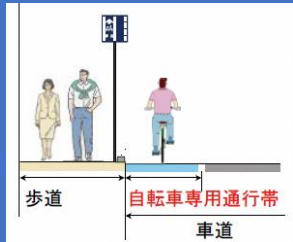
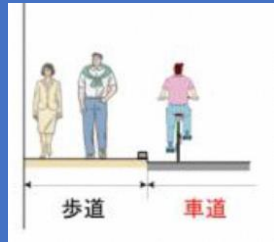


### 3. 県内の自転車通行空間の特徴

- 歩行者と分離された自転車通行空間は、全国の1,730kmに対し、茨城県は24.7km

(km)

#### 歩行者と分離された自転車通行空間(H29)

	自転車専用 道路	自転車道	自転車専用 通行帯	車道混在	合計
					
茨城県	0	9.6	2.5	12.6	24.7
全国	30	150	430	1,120	1,730

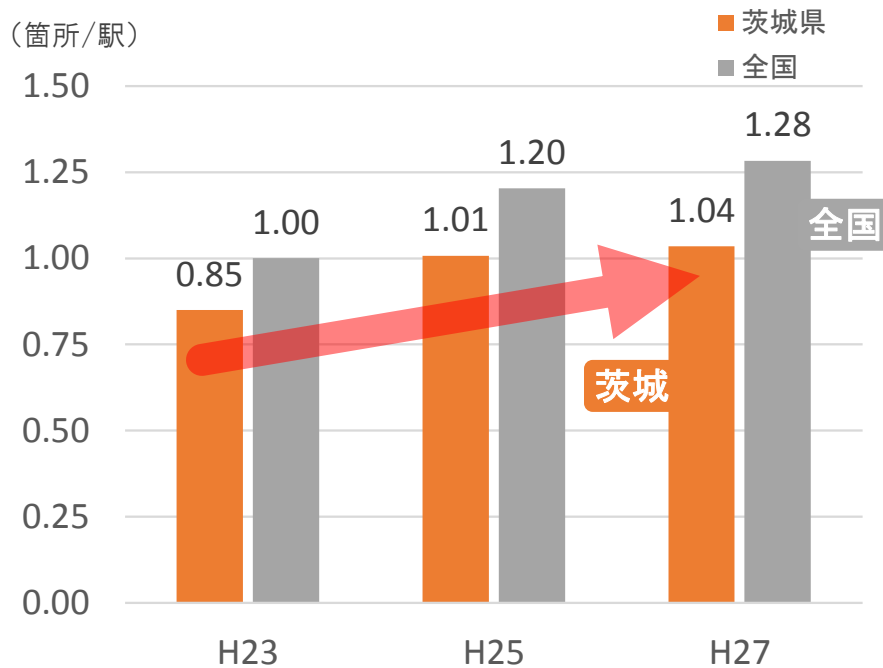
(出典:茨城県:茨城県資料、全国:国土交通省道路局・警察庁交通局調べ(平成29年3月31日時点))

※ただし、茨城県内において、自転車歩行者専用道路は230.9km(うち、41.6kmは、つくば霞ヶ浦りんりんロード)整備済み

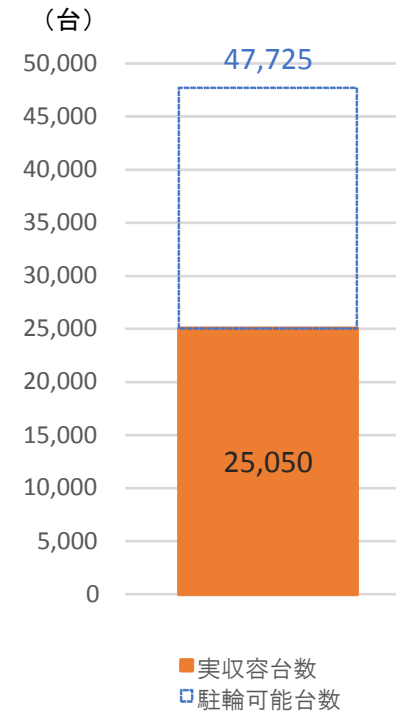
# 4. 茨城県の駅周辺の駐輪場整備状況と利用状況

- 駅周辺の駐輪場数は増加傾向だが、全国平均より低い(全国:1.28、茨城県:1.04箇所/駅)
- 駅周辺の駐輪場の利用状況は、駐輪可能台数に対し実収容台数は半数程度であり、収容能力に余裕がある

＜駅周辺の駐輪場の整備状況＞



＜茨城県の駅周辺の駐輪場の利用状況＞

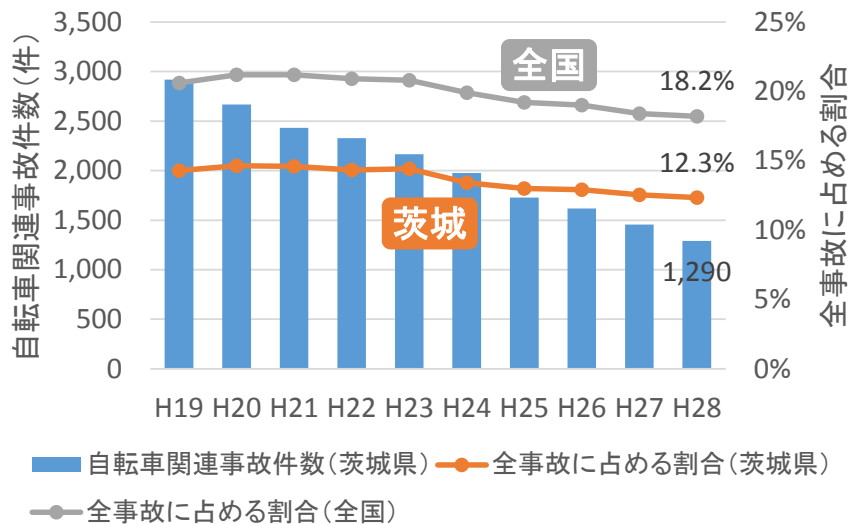


(出典:内閣府 駅周辺における放置自転車等の実態調査の集計結果)

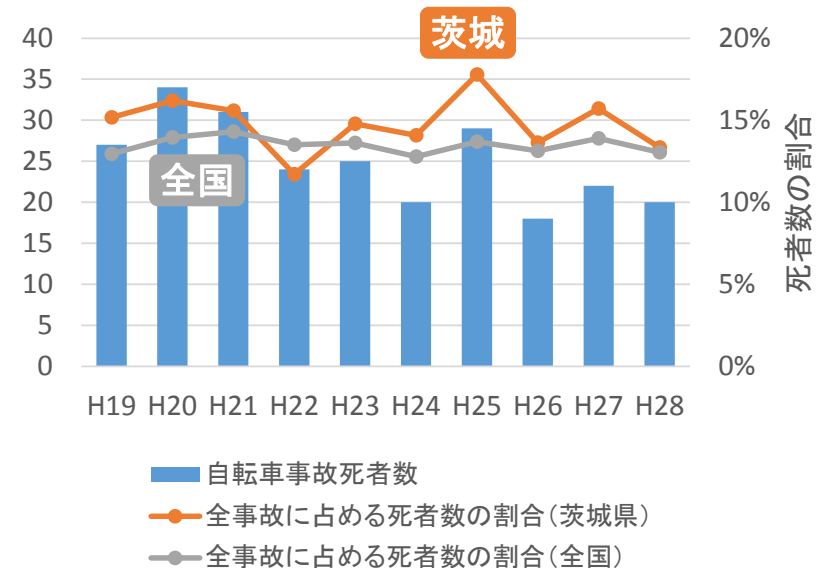
# 5-1. 茨城県の自転車関連事故の発生状況と法令違反の状況

- 自転車関連事故件数は減少傾向、全事故に占める割合も全国平均より低い
- 自転車乗用中の死者数はほぼ横ばい、全事故死者数に占める割合は全国平均よりやや高い

## < 自転車関連事故件数の推移 >



## < 自転車乗用中の死者数の推移 >

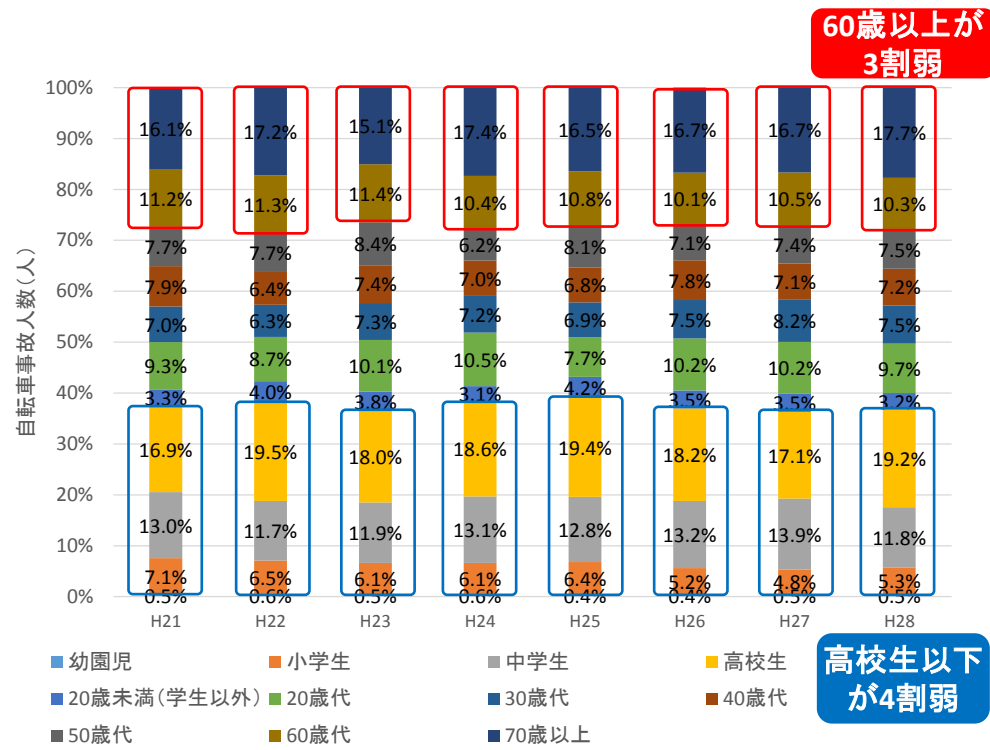


(出典: 交通事故総合分析センター 交通事故統計年報)

# 5-2. 茨城県の自転車関連事故の発生状況と法令違反の状況

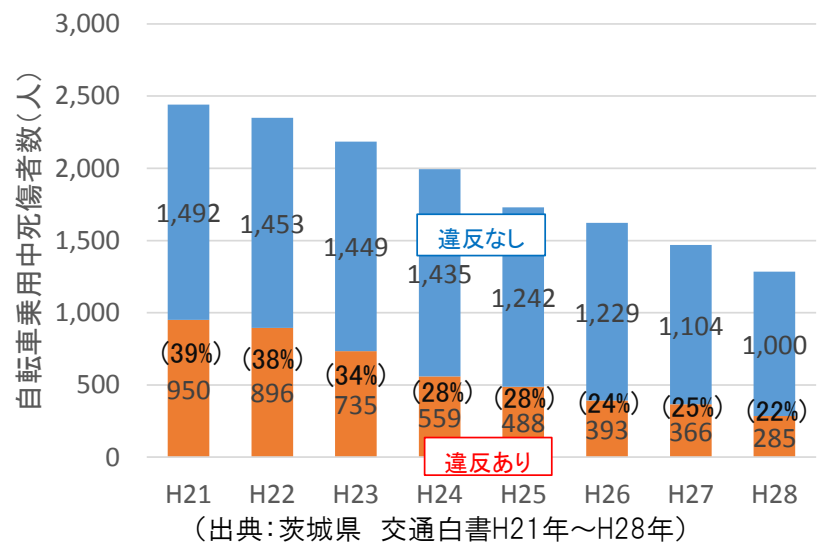
- 平成21年～平成28年の8年間で、自転車関連事故の死傷者数は、おおむね高校生以下が4割弱、60歳以上の高齢者が3割弱を占める
- 自転車乗用中死傷者の法令違反は、違反ありが2割となっている

＜年齢階層別の自転車関連事故死傷者数の推移＞

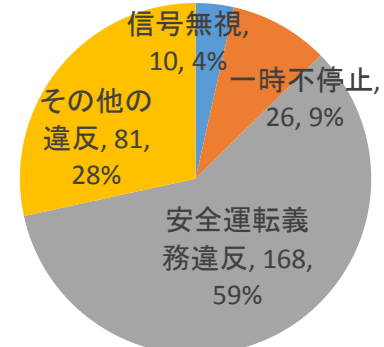


(出典: 交通事故総合分析センター 交通事故統計年報)

＜自転車乗用中死傷者の法令違反の状況＞



＜平成28年度の自転車乗車中の死傷者の法令違反内訳＞



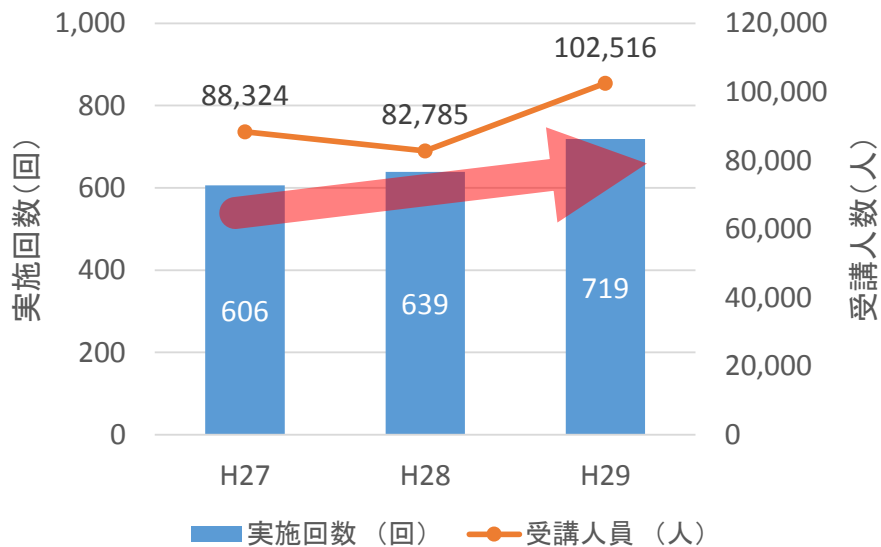
(出典: 茨城県 交通白書H21年～H28年)



# 6. 自転車安全教室の実施状況

- 自転車安全教室は年々実施を拡大、H29年で受講者数は10万人
- 交通安全教室(自転車に限らず)は、ほぼ全ての小学校、9割弱の中学校で毎年実施

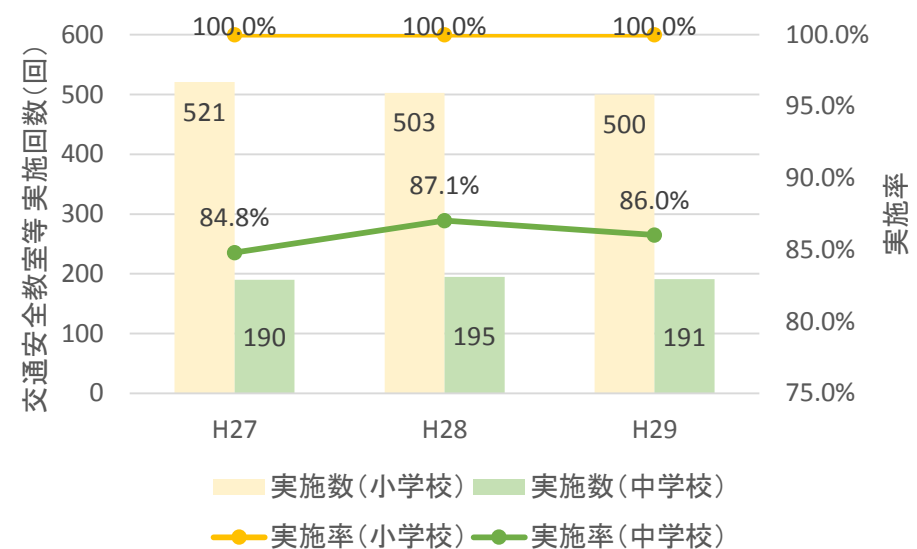
＜自転車安全教室の実施状況＞



(出典:一般財団法人 茨城県交通安全協会)

※警察、市町村、学校、自転車安全教育指導員等の協力を得て、県内全地区交通安全協会において、小・中・高校生、母と子、主婦と高齢者等世代間交流にも着目した自転車安全教室を開催

＜交通安全教室(自転車に限らず)の実施状況＞



(出典:学校保健・学校安全実態調査)

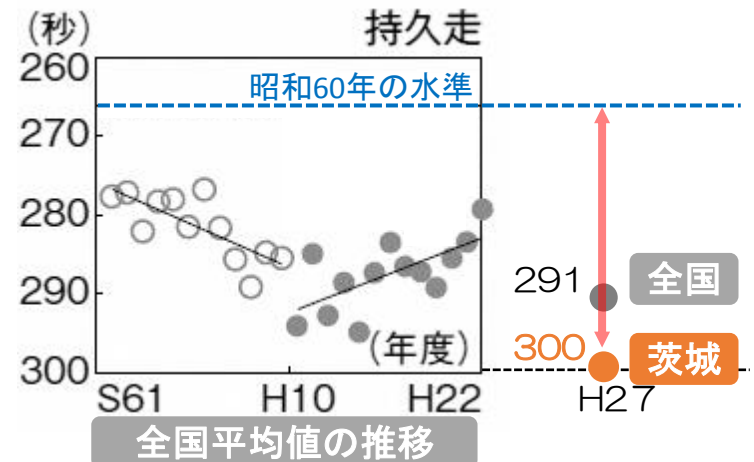
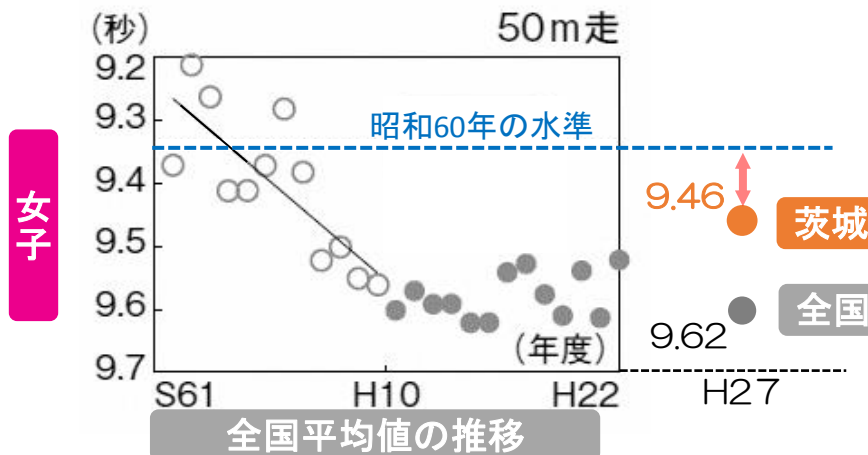
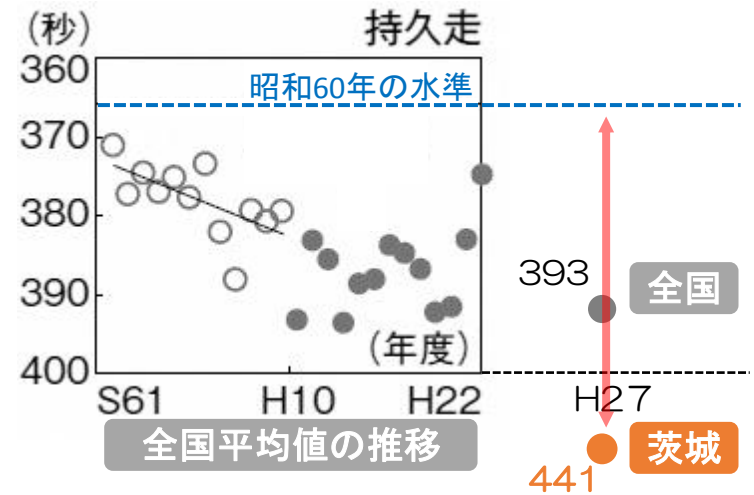
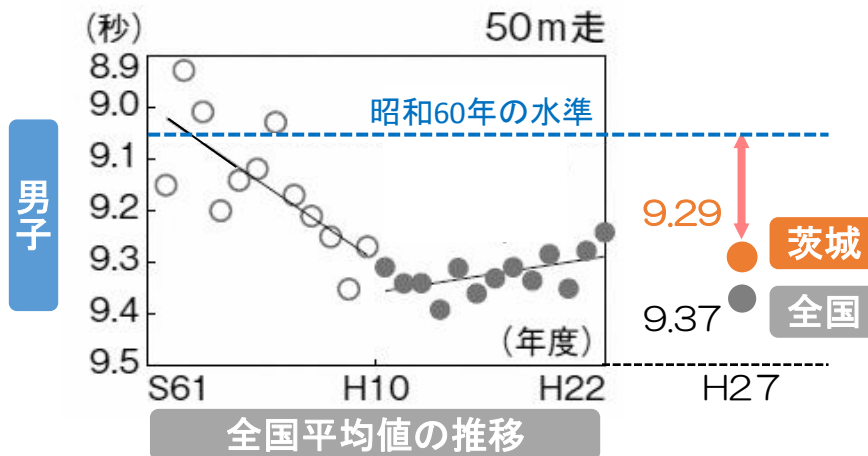
※自転車の安全教室のみの集計は未実施  
 実施率=実施回数/国県公立小or中学校数

# 7. 子どもの運動能力

- 小学生の体力の水準(50m走)は、男女とも全国平均を上回るが、中学生(持久走)では全国平均を下回る
- 小学生・中学生の体力水準は、全国のピーク時(昭和60年)の水準を依然下回る

＜小学生の50m走の平均タイムの比較＞

＜中学生の持久走の平均タイムの比較＞

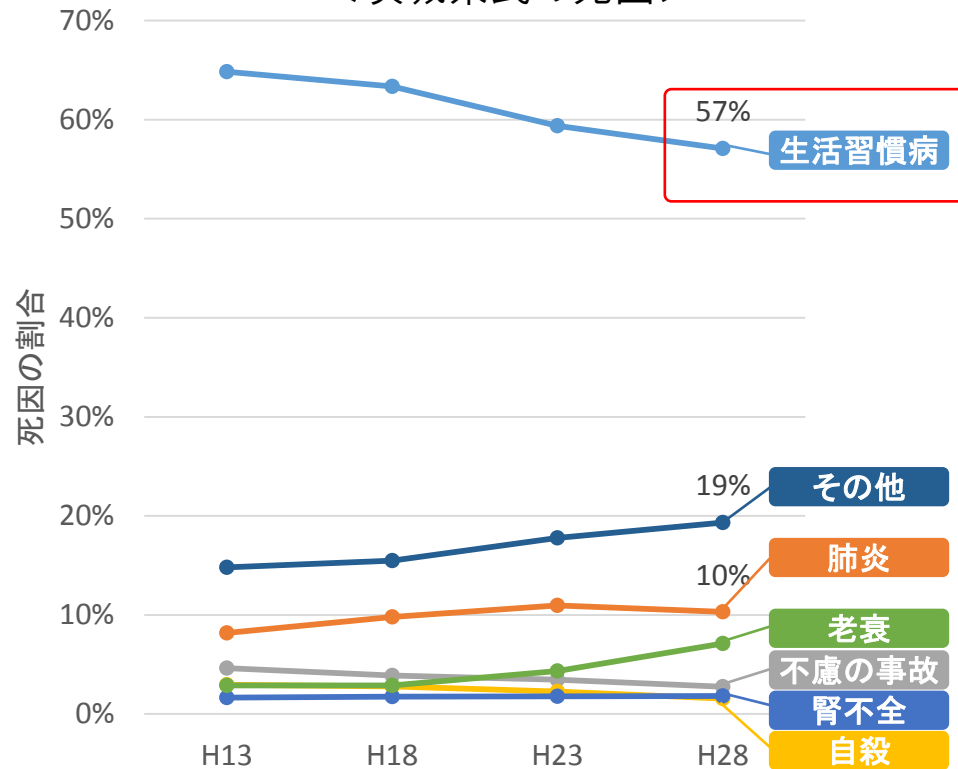


(出典:文部科学省「子どもの体力向上のための取組ハンドブック」、H27値:スポーツ庁「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」)

# 8-1. 茨城県民の健康状況・運動習慣

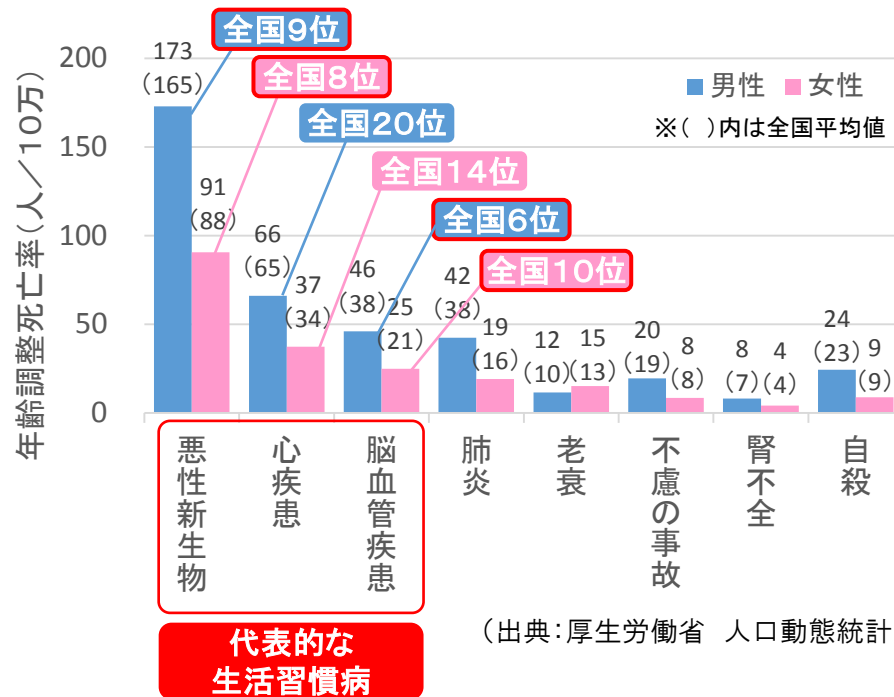
- 茨城県民の死因の6割弱は生活習慣病
- 代表的な生活習慣病である悪性新生物(がん)、心疾患(心筋梗塞など)、脳血管疾患(脳梗塞など)での死亡率は、いずれも全国平均より高い
- 特に悪性新生物、脳血管疾患は、男女とも死亡率が全国上位10位以内

＜茨城県民の死因＞



(出典:茨城県 茨城県人口動態統計)

＜人口10万人あたりの死因別死亡率＞  
(茨城県 H27)

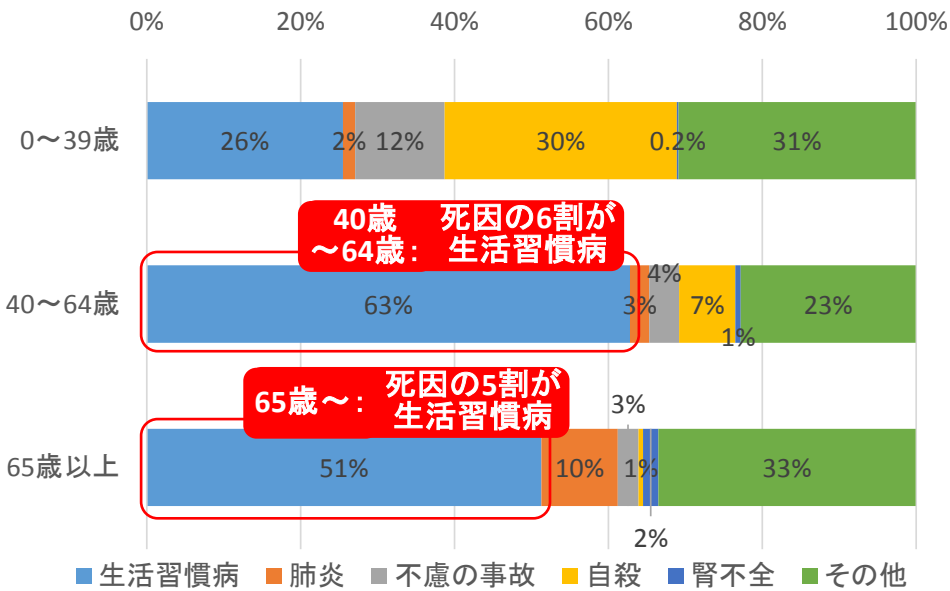


(出典:厚生労働省 人口動態統計)

# 8-2. 茨城県民の健康状況・運動習慣

- 40～64歳において、生活習慣病で死亡する割合が最も高い
- 20～50代の男女とも、運動習慣がある人の割合は全年齢の平均より低い

＜年齢別の死因構成比(H28)＞

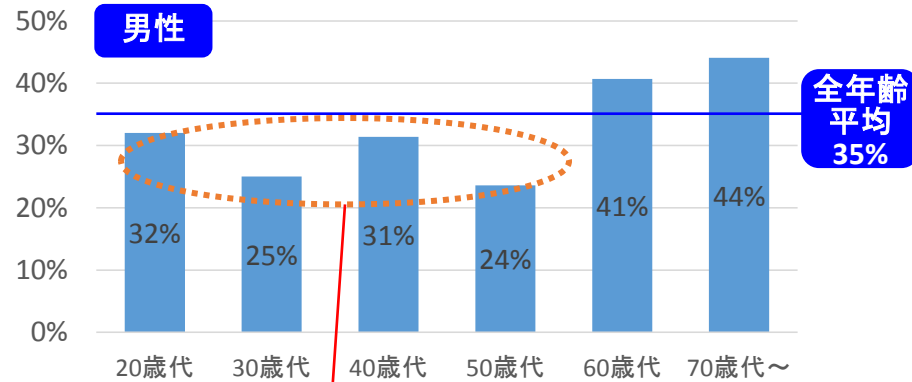


40歳～64歳：死因の6割が生活習慣病

65歳～：死因の5割が生活習慣病

(出典：茨城県人口動態統計)

＜運動の習慣がある者の割合(男女・年齢別)(H28)＞

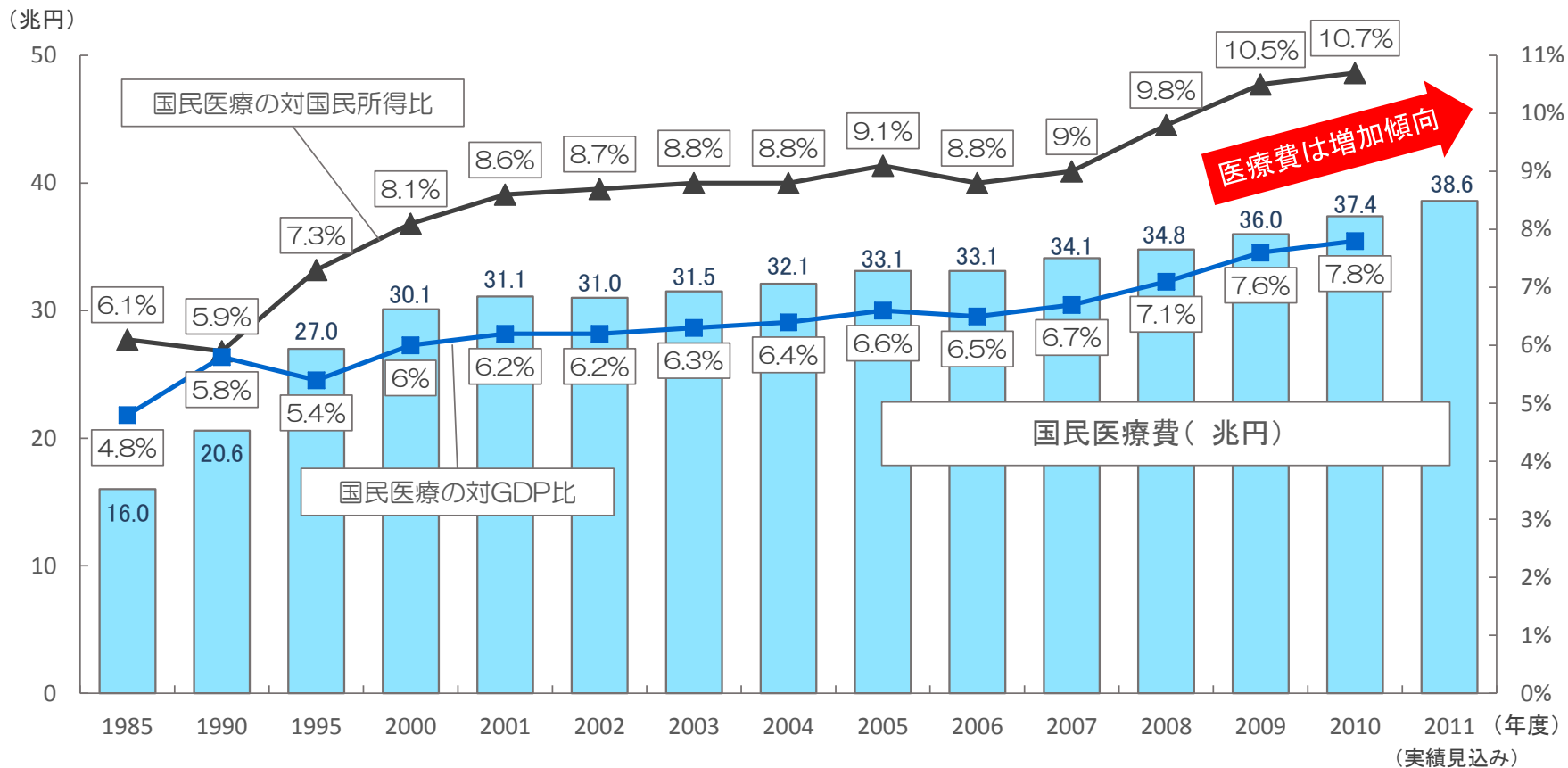


男女とも、20～50代の運動習慣は全年齢の平均より低い

(出典：茨城県「茨城県総合がん対策推進モニタリング調査」、厚生労働省「国民健康・栄養調査」)

# 8-3. 茨城県民の健康状況・運動習慣

- 国民の医療費は毎年増加傾向



(出典:厚生労働省「国民医療費の概況」)

# 9. 茨城県の主な交通アクセス

- 陸海空の交通ネットワークが整備されており、アクセス性に優れている

## 都心から好アクセス

- ✓ JR常磐線
- ✓ 高速バス(東関東自動車道 潮来IC)
- ✓ 常磐自動車道、圏央道、北関東道路

## 空港に近接した地域

- ✓ 茨城空港
- ✓ 成田国際空港



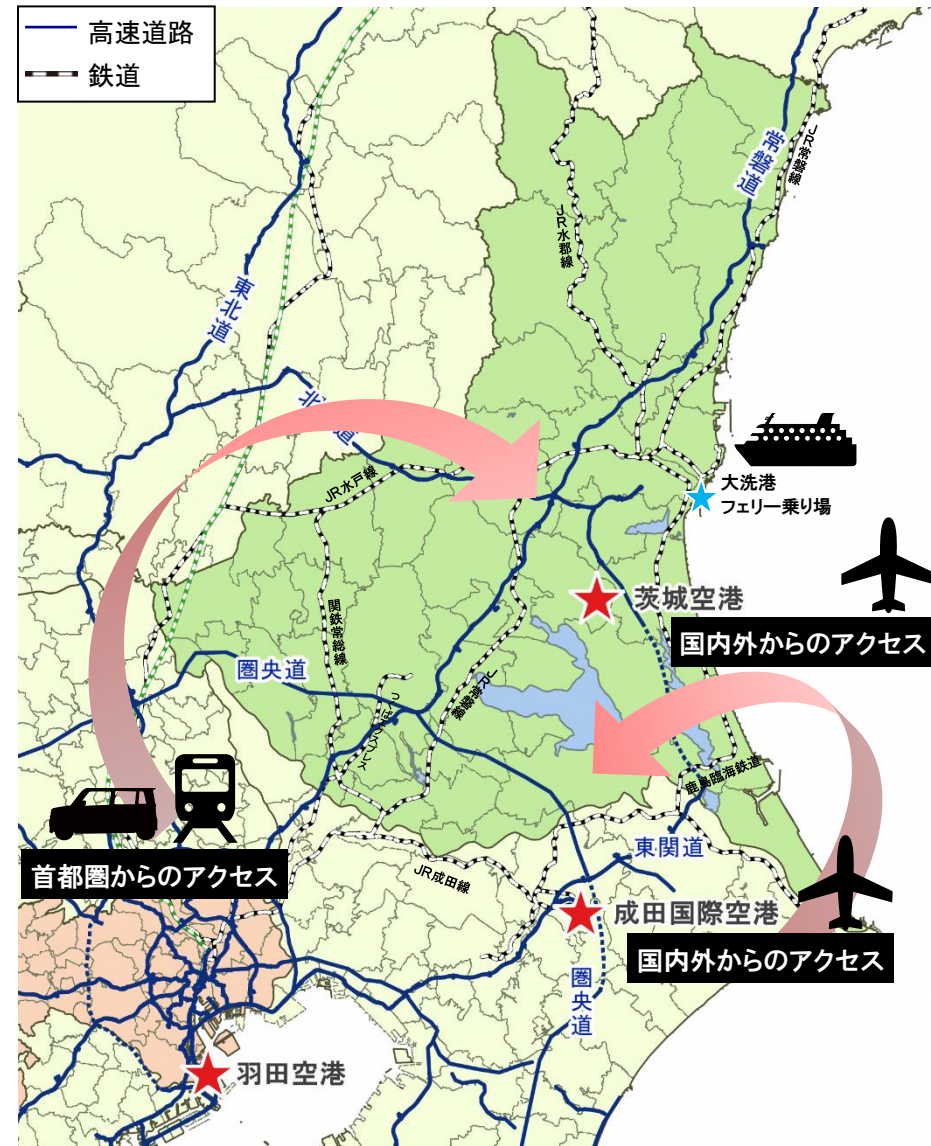
JR常磐線特急



茨城空港(茨城県HP)



つくばエクスプレス(茨城県HP)



・ 茨城県内には豊富な地域資源が点在

## ＜茨城県の観光資源＞

① 偕楽園



日本三名園

② 筑波山



③ 筑波山温泉郷



西の富士山  
東の筑波山

④ 古河総合公園

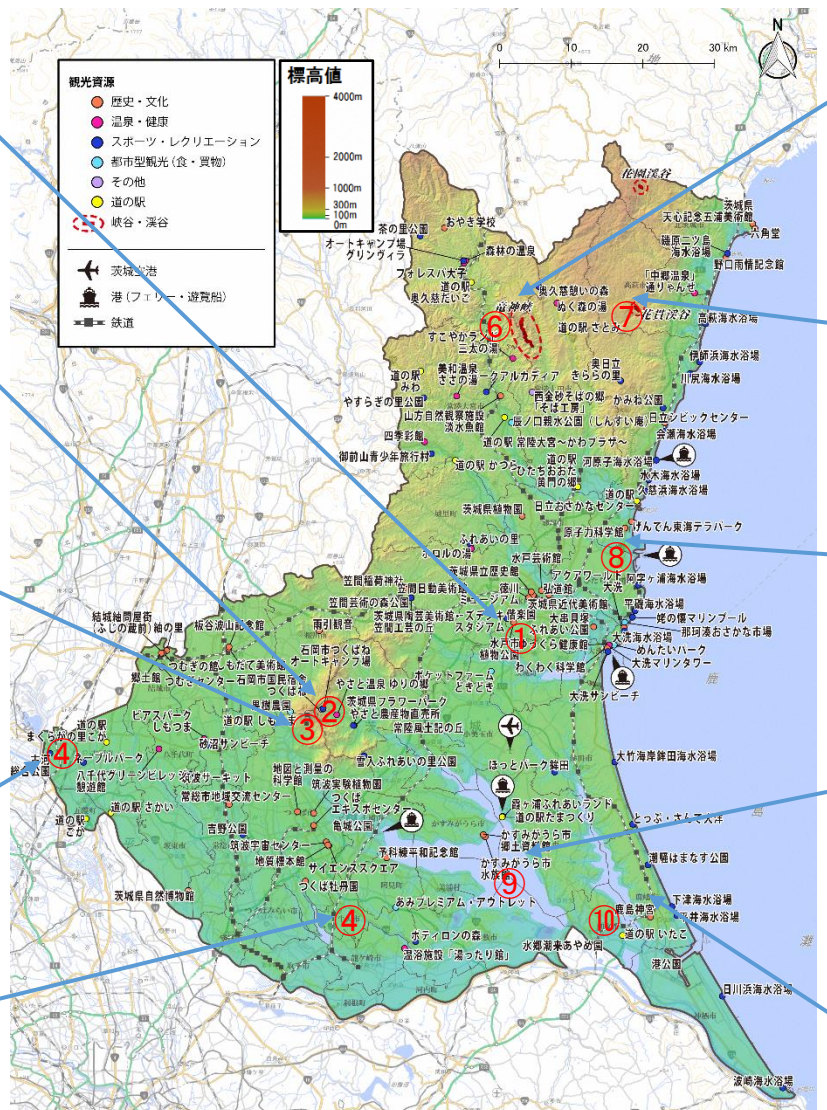


日本初ユネスコ  
メリナ・メルクーリ  
国際賞受賞※

⑤ 牛久阿弥陀大佛



青銅製立像  
高さ世界一



⑥ 竜神大吊橋



日本最大級の  
歩行者専用橋

⑦ 袋田の滝



日本  
三名瀑

⑧ 国営ひたち海浜公園



日本一の  
ネモフィラ畑

⑨ 霞ヶ浦



日本二の  
広さの湖

⑩ 鹿島神宮



日本  
三大神宮

■ メロン



収穫量  
日本一

■ サバ



漁獲量  
日本一

■ ピーマン



収穫量  
日本一

■ レンコン



収穫量  
日本一

■ 常陸牛



ブランド  
和牛

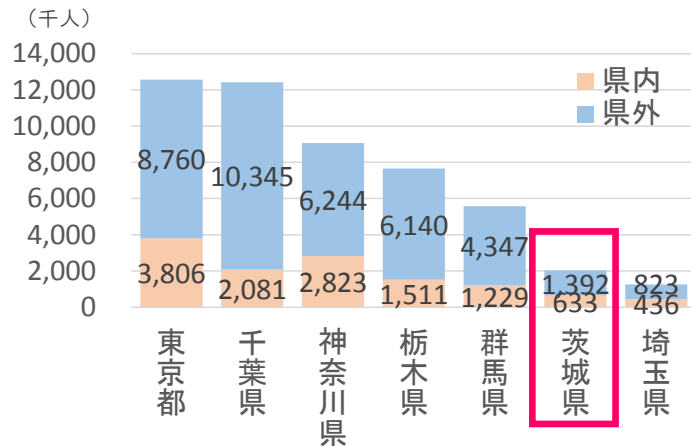
(写真:茨城県庁、観光いばらきHP、つばき観光コンベンション協会HP)

※メリナ・メルクーリ国際賞：世界の主要な文化景観の保護と管理を目的とした顕著な活動に対して功績を称える賞(ユネスコ・ギリシャ主催)

# 10-2. 茨城県の観光動態

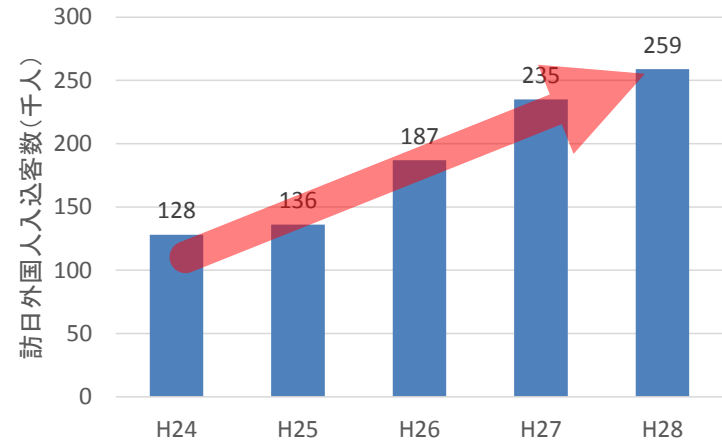
- 茨城県の観光入込客数・観光消費額は、関東1都6県の中で2番目に低い
- 茨城県の訪日外国人入込客数は過去5年間で倍増

### ＜H28年 観光入込客数(宿泊)＞



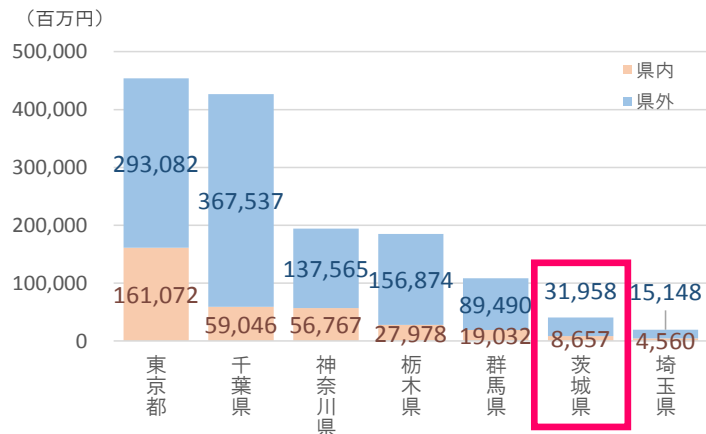
(出典:観光庁 旅行・観光消費動向調査)

### ＜訪日外国人入込客数＞



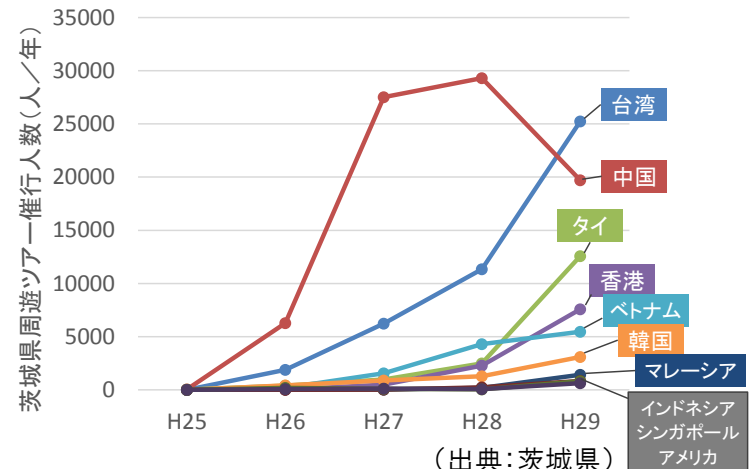
(出典:茨城県 観光客動態調査結果)

### ＜H28年 観光消費額(宿泊)＞



(出典:観光庁 旅行・観光消費動向調査)

### ＜参考:県周遊ツアー参加者の国別内訳＞

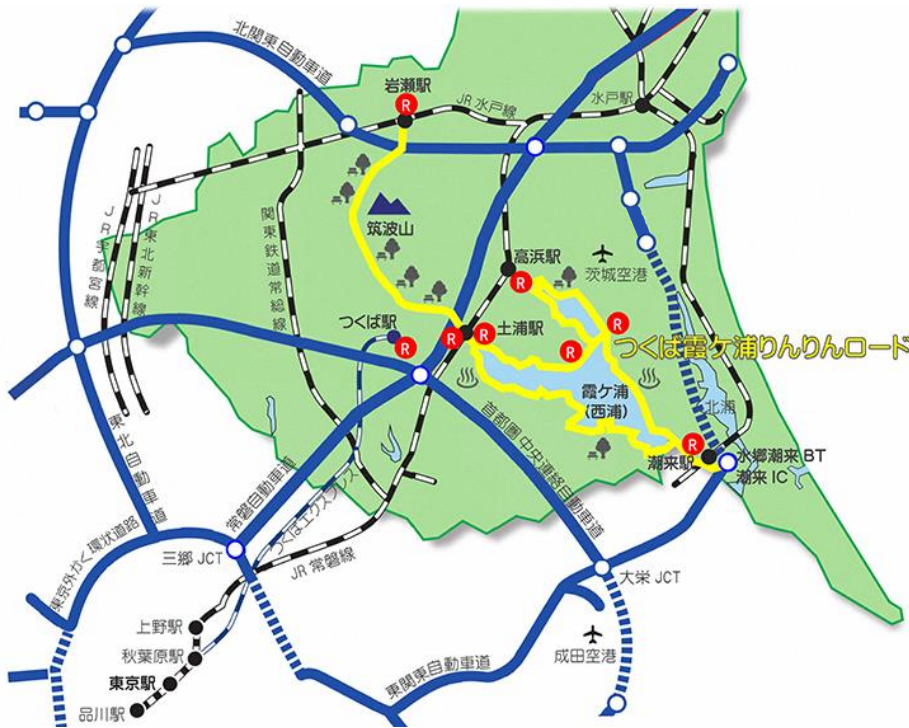


(出典:茨城県)



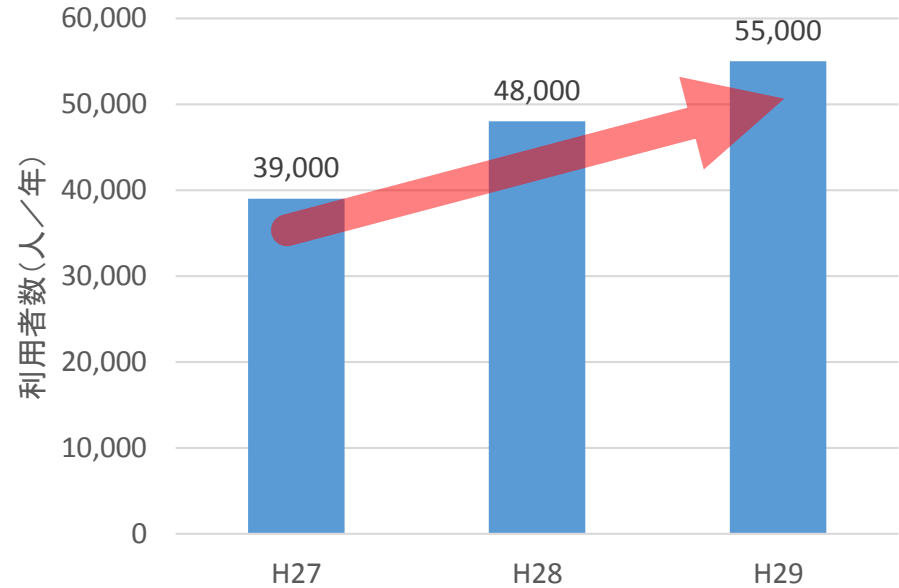
- 国内有数の長さのサイクリングコース「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を整備(H28年)
- つくば霞ヶ浦りんりんロードの利用者数は毎年増加傾向

〈つくば霞ヶ浦りんりんロードの位置図〉



(出典: つくば霞ヶ浦りんりんロードポータルサイト)

〈つくば霞ヶ浦りんりんロード利用者数の推移〉



(出典: 茨城県)



整備状況の様子

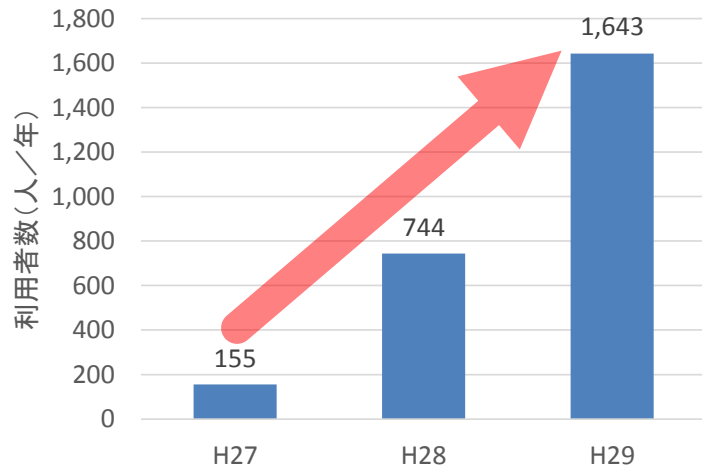
- 県と沿線市町村で乗り捨て可能な広域レンタサイクルを実施、利用者数は3年間で10倍増
- 既存施設と協力し自転車サポートステーションを整備(県内308施設)

## ＜広域レンタサイクル＞



(出典:つくば霞ヶ浦りんりんロードポータルサイト)

## ＜広域レンタサイクル利用者数＞

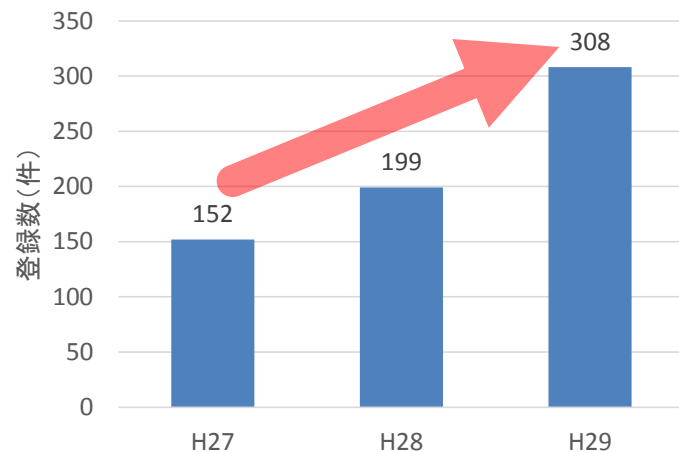


## ＜自転車サポートステーション＞



(写真:茨城県)

## ＜自転車サポートステーション登録数＞



(出典:茨城県)